

# BUSINESS HIGHLIGHT

ビジネスハイライト～2016年度上半期～



- A** 4月15日/日本  
生活産業グループ  
オラム社と食品原料販売の合併会社  
MCアグリアライアンス設立に合意
- B** 4月20日/米国  
地球環境・インフラ事業グループ  
ペンシルバニア州の天然ガス焚  
火力発電プロジェクトに参画→P15ご参照
- C** 5月17日/米国  
新産業金融事業グループ  
シリコンバレー域内新興企業向け  
投資ファンドを設立
- D** 5月17日/オーストラリア  
地球環境・インフラ事業グループ  
キャンベラ市都市交通システム運営の  
事業権契約を締結
- E** 7月1日/インドネシア  
エネルギー事業グループ  
タンゲールLNG(液化天然ガス)拡張プロジェクトの  
最終投資決定→P15ご参照
- F** 7月12日/ミャンマー  
新産業金融事業グループ  
ヤンゴン市中心部の大規模複合再開発事業に着手→P14ご参照
- G** 7月27日/ベトナム  
新産業金融事業グループ  
ハノイ市の分譲住宅開発事業に参画→P14ご参照
- H** 8月10日/米国  
地球環境・インフラ事業グループ  
分散型太陽光発電事業者であるNexamp社に出資
- I** 9月6日/ベルギー  
エネルギー事業グループ  
船舶燃料用LNGの供給・販売の全世界ブランド「Gas4Sea」の立ち上げ  
(世界初となる大型LNG燃料供給船を利用したLNG燃料供給・販売事業をスタート)
- J** 9月9日/米国  
地球環境・インフラ事業グループ  
メキシコ湾で洋上原油生産設備(FPSO)事業の生産開始
- K** 9月13日/インド  
機械グループ  
インド市場向けエレベーターの現地生産を開始

## アジアで不動産開発事業を積極展開

経済成長に伴い不動産市場が拡大しているアジアにおいて、現地の有力パートナーと提携し、複合再開発事業や分譲住宅事業を主体的に展開しています。

2016年7月、ミャンマーの大手企業グループSerge Pun & Associates (SPA)、三菱地所、海外交通都市開発事業支援機構、アジア開発銀行、および国際金融公社と、同国最大の都市ヤンゴン中心部の大規模複合再開発事業

Landmark Projectに着手することに合意。SPAグループがオフィス等を運営してきた約4haの敷地を再開発し、新たにオフィス2棟、分譲住宅、ホテル・サービスアパート、および商業施設を合わせ、総延床面積約22万㎡を開発・運営します。インフラ・社会基盤整備を重要課題とする同国において、長期にわたり経済発展を支える基盤となるプロジェクトです。



「Landmark Project」完成イメージ(ヤンゴン市)



「TMCP Project」完成イメージ(ハノイ市)

また、同月、ベトナムの首都ハノイでも、同国大手不動産デベロッパーBitexcoが進める分譲住宅開発事業への参画も決定。三菱商事が参画するのは、ハノイ市南西のホアンマイ区で進められている住宅、商業、オフィス、学校、スポーツ施設などの大規模複合開発事業The Manor Central Park (TMCP) Project (計画地面積90ha)のうち、分譲住宅開発の第1期計画である低層棟240戸、高層棟2棟1,036戸となり、総事業費は約300億円の見込みです。堅調な経済成長を背景に、分譲住宅のニーズが高まる同国において、高付加価値の不動産開発、関連サービスを提供します。

今後も、世界各国で展開する不動産開発事業で培った三菱商事の知見・ノウハウと、世界のパートナー企業との幅広いネットワークを活かし、付加価値の高い都市インフラの開発、サービスの提供に努めていきます。

## 米国で天然ガス焚火力発電プロジェクトに参画

地球環境・インフラ事業グループ



「ペンシルバニア州 ウェストモアランド発電所」完成イメージ

2016年4月、米国ペンシルバニア州の天然ガス焚火力発電プロジェクトに参画しました。三菱商事100%子会社の米国発電事業統括会社Diamond Generating Corporation (DGC)を通じて、開発事業者のTenaskaと共同で同州ウェストモアランド郡に発電容量92万kWの天然ガス焚コンバインドサイクル発電所を建設。2019年度に商業運転を開始予定で、稼働後は米国北東部13州およびワシントンDCをカバーする同国最大の電力市場に売電します。

本件は、DGCが米国北東部で手がける2件目の発電プロジェクトです。本プロジェクトを通じて、米国における電力の安定供給に貢献し、今後も積極的に電力事業を展開します。

## インドネシアのタングーLNG拡張プロジェクト、最終投資を決定

エネルギー事業グループ

2016年7月、三菱商事が携わるインドネシアのタングーLNG事業において、同事業拡張プロジェクトの最終投資決定を行いました。本プロジェクトは、インドネシア西パプア州でBPがオペレーターとなり推進しているタングーLNG事業にて、現在年間760万トンを生産する液化設備2系列に、年間380万トンの生産能力を持つ第3系列を増設するもので、2020年中の生産開始を目指します。三菱商事は、本プロジェクトを通じて、増加が予想される同国のエネルギー需要を支えるとともに、日本へのエネルギーの安定供給にも貢献します。



既存の液化プラントとLNGタンク、棧橋  
(2016年第3四半期より拡張工事着工予定)